

12-5 農村地域計画【選択科目Ⅱ】

Ⅱ 次の2問題（Ⅱ-1，Ⅱ-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

Ⅱ-1 次の4設問（Ⅱ-1-1～Ⅱ-1-4）のうち2設問を選び解答せよ。（設問ごとに答案用紙を替えて**解答設問番号**を明記し、それぞれ1枚以内にまとめよ。）

Ⅱ-1-1 農山漁村で6次産業化を推進する意義，及び具体的な取組事例について述べよ。

Ⅱ-1-2 日本型直接支払制度における多面的機能支払制度の内容，及び政策的な狙いについて述べよ。

Ⅱ-1-3 都市と農村の共生・対流による農村の活性化の代表的な取組事例を述べよ。

Ⅱ-1-4 農地の利用集積・集約化をするための農地中間管理機構の仕組みについて述べよ。

Ⅱ－２ 次の２設問（Ⅱ－２－１，Ⅱ－２－２）のうち１設問を選び解答せよ。（解答設問番号を明記し，答案用紙2枚以内にまとめよ。）

Ⅱ－２－１ 我が国の農業を支える高齢農業者のリタイア等に伴って，耕作放棄地の発生が，地域農業に与える影響を軽減することが求められている。あなたが，耕作放棄地の解消に向けた対策計画策定の業務担当者として，この業務を進めるに当たり，以下の内容について記述せよ。

- (1) 耕作放棄地解消対策の策定に当たり考慮すべき現状と課題
- (2) 対策計画策定の手順
- (3) 対策計画を実行するための手順と留意すべき事項

Ⅱ－２－２ 多くの農村地域では，農業従事者の高齢化・後継者不足，若者の流出等の課題がある中で，農村の地域資源を活用した活性化が求められている。あなたが，農村活性化計画策定の業務担当者として，この業務を進めるに当たって，以下の内容について記述せよ。

- (1) 計画策定地区の農村の地域資源の把握に当たり，考慮すべき内容と方法
- (2) 活性化計画策定の方法と手順
- (3) 活性化を図るため，それを担う人材育成に当たって留意すべき事項

12-5 農村地域計画【選択科目Ⅲ】

Ⅲ 次の2問題（Ⅲ-1、Ⅲ-2）のうち1問題を選び解答せよ。（解答問題番号を明記し、答案用紙3枚以内にまとめよ。）

Ⅲ-1 平成25年に決定された農林水産業・地域の活力創造プランを推進する新たな農業・農村施策として、①農地中間管理機構の創設、②経営所得安定対策の見直し、③水田フル活用と米政策の見直し、④日本型直接支払制度の創設の4つの改革が行われている。この中で農地中間管理機構について、以下の問いに答えよ。

- (1) 農業者の高齢化の進行、耕作放棄地の増加等の状況を打破し、力強い農業を作っていくためには、地域の担い手に農地を集約することが求められており、集約するために検討しなければならない項目を述べよ。
- (2) 上述した検討すべき項目に対し、農地中間管理機構の活用を通じて解決すべき技術的課題を抽出し、実現性の高い主要な解決策を複数提示せよ。
- (3) それぞれの解決策を実施した場合の効果（メリット）及び、それを実現する場合の問題点を論述せよ。

Ⅲ-2 土地改良事業の費用対効果分析マニュアルは、平成14年の行政機関が行う政策の評価に関する法律の施行に伴い平成19年に策定され、その後の情勢変化により改正が行われている。このことを踏まえて、以下の問いに答えよ。

- (1) 近年の土地改良事業が水利施設の更新整備や更新整備と併せて大規模地震対策が主体となっている。このことを踏まえ、費用対効果分析に当たって、更新整備と大規模地震対策に区分して、検討しなければならない課題について述べよ。
- (2) 上述した区分毎に事業内容の例を挙げて、評価に当たっての技術的課題を抽出せよ。
- (3) あなたの抽出した課題に対する総費用、総便益算定方法を提示し、その算定方法のメリットと算定する際の問題点について述べよ。